

CNA Report

News & Analysis Focusing On Audio/Video/Data Collaborative Conferencing Market

Independent & Unbiased Perspective Since December, 1999

電話会議・テレビ会議・データ会議(Web 会議)専門ニュースレター

Vol 5. No. 13 2003年7月31日号 毎月15日・月末発行 創刊1999年12月8日

発行人/編集人: 橋本啓介 (Keisuke Hashimoto) kay@hkeis.jp Copyright 2003 ケイ・オフィス All rights reserved.

ニュースダイジェスト

■2003年4月-6月期のテレビ会議端末販売台数発表 (全世界)

業界専門の英語ニュースレター、Electronic TeleSpan (2003年7月28日号)によると、2003年4月-6月期の全世界テレビ会議端末販売台数は、20,895台であった。

そのうち、TeleSpan Big Six(トップベンダーをTeleSpanではこう呼ぶ。)ベンダーは、17,761台を販売した。前四半期である1月-3月期に比較して13.7%増であったが、昨年同四半期に比べ17.5%減となった。

Source: TeleSpan Publishing Corporation

<http://www.telespan.com>

■中国商工銀行、ポリコム社製のテレビ会議 300 台以上導入

中国の銀行である中国商工銀行が、米ポリコムのテレビ会議端末 VS4000 を 300 台以上、MGC シリーズの MCU (多地点接続装置) を、24 台導入したと発表した。全行内で活用、IP ネットワーク上(ATM バックボーン)でのテレビ会議として利用する模様。導入した目的としては、支店間の出張減、支店間のコミュニケーションの活性化、今まで衛星ベースで活用してきたネットワークを張り替える。用途は、ミーティング、社内教育などに活用する。テレビ会議ネットワークは、ポリコム社の GSM(ポリコム・グローバル・マネージメント・システム)によって管理運営する。

中国のテレビ会議システム製品に対する輸入関税は、35%で、ちなみに FX の価格を日本と比較したところ、あまり大差がないようなので、VS4000、MGC-100 の価格もあまり大差がないと推測した上で、今回の導入費用(ネットワーク分を除く)を大雑把に推計した場合、15 億円程度か? ポリコム社からの発表としては、昨年のチャイナ・ユニコムの 300 台 (FX、VS4000)、MCU(多地点接続装置)34 台導

入とほぼ同じ規模の大型導入。

CMP.netChina(2003年7月22日号)によると、ある調査会社の報告として、ポリコム社は、中国市場では、32%の市場シェアを握っているとレポートしている。中国市場でのトップ3は、全体の 62%だが、ポリコム社はその半分を占めるということになる。また、2003 年には市場は 26%拡大、2004 年、2005 年は 32%ずつ市場全体が拡大すると予想されている。中国市場は近いうちに日本市場を追い抜くという見方が一般的。

中国メーカーとしては、HuaweiとZTEが、MCUまで含めたオールラインナップのテレビ会議製品を出している。(CNAレポート No.5 Vol. 1 2003年1月15日号 中国市場レポート参照)

■VCON 社、ファイヤーウォールNAT問題解決、暗号化ソリューション発表



SmartConnect ALG Proxy Server

イスラエルのVCON社は、セキュアコネクトシリーズの製品、ALG(アプリケーション・レベル・ゲートウエイ)プロキシ・サーバーと、アドバンスド・エンクリプション・サーバーを発表した。

ALG プロキシ・サーバーは、ファイヤーウォールNAT問題解決するサーバーで、同時処理の接続コール数が、2 から 100 まで対応。アドバンスド・エンクリプション・サーバーは、ALGプロキシ・サーバーか、VCON エンクリプショ

ン・クライアントと動作する。暗号化は、DES、3DES、AES に対応し、1 万同時ログインの処理能力を持つ。

VCON セキュアコネクトシリーズは、今年 6 月 2 日に発表した、イスラエルのネットマウント社の買収によってもたらされた技術と同社のプレスリリースでは発表している。今回の製品は、今年第三四半期(7 月-9 月)に発売される予定。

■アイ・ビー・イーと NTT-ME、テレビ会議 ASP サービスの提供開始

アイ・ビー・イー(東京都千代田区)と NTT-ME(東京都千代田区)は、パソコンを利用したブロードバンド IP テレビ会議 ASP サービス「tvkaigi.net(テレビ会議・ドット・ネット)」事業において業務提携をおこなった。同サービスを利用することにより、インターネットにブロードバンド接続したパソコンで、複数の遠隔地の相手とテレビ会議を行ったり、コミュニケーションをおこなうことができる。

アイ・ビー・イーが持つデジタルビデオシステムに関するノウハウを盛り込んだテレビ会議システムと、NTT-ME が提供する「映像配信サービス(Prime Stage)」ホスティングサービス機能を利用することで実現した。

平成 15 年 7 月 1 日よりサービス提供を開始、平成 15 年度内に 100 契約、1 億円、3 年後には、1000 契約、5 億円の売上げを目指す。料金については、初期費用が 5 万円、月額基本使用料が 5 万円、会議室利用料金(会議規模に比例:4 人部屋 500 円、50 人部屋 3000 円など会議室利用料金 15 分単位)でサービスが利用できるが、7 月 1 日から 9 月 30 日までは、「体感キャンペーン」を実施、月額基本料金、会議室利用料金を無料にする。

専用のソフトウェアは不要、パソコンに UBS カメラとマイクを用意するだけ。NAT にも対応する。機能としては、映像、音声、チャットによる送受信、データイメージ共有、ホワイトボード、会議録画機能、入室制限機能、スケジュール管理などの機能もある。最大 50 地点同時会議、また同時に表示できる映像は 16 名分まで可能。

カスタマイズや OEM 供給も対応することが可能。ある証券会社が全国 9 カ所、700 名の個人投資家を結んで証券セミナーを実施した実績があるという。

■スターバック社、シリーズ B による資金調達

テレビ会議映像をストリーミングする製品を提供する米スターバック社は、シリーズ B による資金調達を実施した。実施額は、300 万 USD(約 3 億 6000 万円)。引き受けたベンチャーキャピタルは、ヴェンロック・アソシエイツ社、アトラス・ベンチャー社、カーライル・ベンチャー・パートナー社など。優先株等の発行による資金調達と思われる。

今後シリーズ C、D などを経て IPO(株式公開)を目指すものと思われる。

■ラティチュード社、インドの多地点サービスのサイババザー社と提携

米ラティチュード社は、インドで、音声、データ、ビデオ多地点サービス、通信サービスを提供するサイババザー社と提携し、米ラティチュード社が提供する音声・ウェブ会議サーバー「MeetingPlace」を、インド市場に投入する。サイババザー社は、インド全国に展開し、現在 IT 関連、金融関連の企業向けにサービスを提供している。「MeetingPlace」サーバーは、顧客の要望により、顧客の会社内に設置することもできるが、サイババザー社のサイババザーセンターに預かり保守するということも可能。

■コンピュネティクス社、ウェブエックス社向けにコール制御機能をサポート

音声会議・テレビ会議 MCU などを開発製造する米コンピュネティクス社は、ウェブ会議サービスを提供する米ウェブエックス社のウェブ会議向けに、コール制御機能を追加する。この機能は、米コンピュネティクス社が提供する CONTEX プラットフォームでサポートする。このコール制御機能により、ダイヤル・イン、ダイヤル・アウト、招待、消音、切断などがサポートされる。

■コロボ・テクノロジーと日立ハイテクノロジー提携

コロボ・テクノロジー(東京都千代田区)と日立ハイテクノロジー(東京都港区)は、複数の拠点間をインターネットで接続し、映像、音声、データを共有した遠隔会議や教育・研修などの E-ラーニングを可能とする次世代型遠隔会議システム分野で提携する。

日立ハイテクノロジーは、コロボ・テクノロジーの提供

するパソコンベースの遠隔会議システムである「CollaboBase(コラボベース)」の OEM 供給を受け、テレビ会議システムと連携させた各種ソリューションの開発を行い、日本国内で販売を今年7月から開始する。

両社間では、既存テレビ会議ユーザーへの販売促進、共同セミナーの開催や展示会での協力、協同広告の実施など、マーケティング活動で、共同で展開する。

導入ユーザーや販売パートナーに対するサポートについては両社共同で行う。

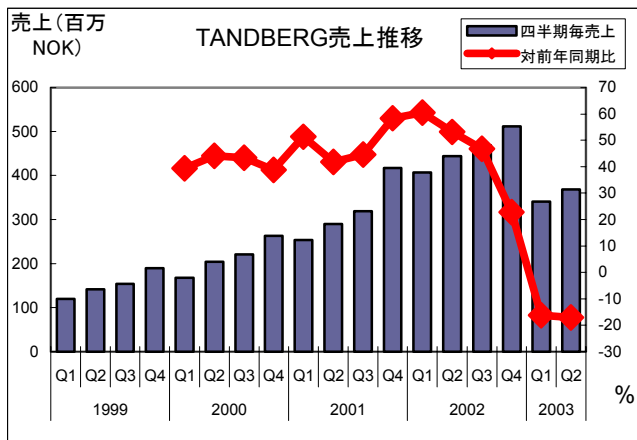
■中部テレコミュニケーション、8月よりIPテレビ電話サービス等開始

中部テレコミュニケーション(愛知県名古屋市、中部電力64.27%出資)が、ISP(インターネット接続業者)向けに、IP電話サービス、IPテレビ電話サービスを提供する。IP電話サービスは、「050」で始まる電話番号によるIP電話サービスで、IPテレビ電話サービスは、IP電話サービスに加え、テレビ電話用のIDを使って加入者間の通信ができる。加入者間では、通話料は無料だが、一般加入電話へは全国一律3分8円で通話可能。また、初期工事費用が数千円程度かかるようだ。

当面は、中部電力ひかりネット・カンパニーが提供するFTTHサービス、commuf@ (コムファ)で提供し順次拡大させていく予定。

業績発表(第二四半期:2003年4月-6月) Part I

■タンバーク社



ノルウェーのタンバーク社は、3億6800万NOK(約61

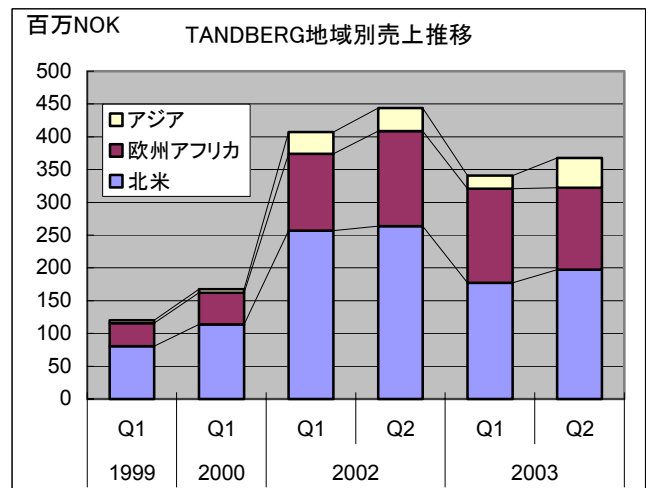
億3160万円)を第二四半期で収益として計上し、前四半期から増益となったが、前年同期比で、17.1%減となったが、税引き前利益は、8360万NOK(約13億9300万円)。前四半期から4.6%減となったが、現預金資産残高は、前期の14億570万NOK(約240億円)から15億500万NOK(約258億円)に増加した。

DSO(売掛金回収期間)は、前四半期平均の91日から今四半期は、81日に改善した。

同社が最近行った投資家、アナリスト向けの電話会議による業績発表で、今四半期は期待以上の成果と同社では見る。

チャレンジングな厳しいビジネス環境で、売上総利益は、66.9%、ASP(平均販売単価)もフラットを維持していると発表した。また、今後もキャッシュフロー、DSO(売掛金回収期間)の短縮化、管理コストの圧縮とコントロールなどに注力して経営を行っていくという。価格競争から質での競争への転換、ハイタッチ販売モデルの展開が急務と見ているようだ。次の第三四半期は、今期第二四半期と同レベル程度を予想しているという。今後も年後半にかけて「視界が悪い、限られた」ビジネス環境が続くと同社では見ている。

地域毎の売上構成については、同社の報告によると、第二四半期は、北米が54%、欧州アフリカが34%、アジア太平洋が12%という状況で、前四半期にくらべ欧州アフリ

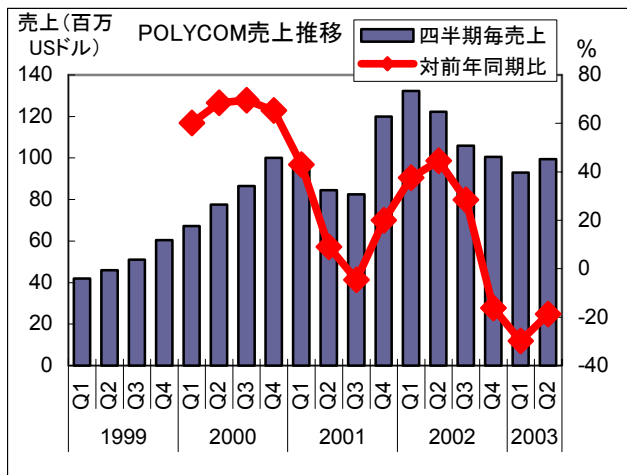


力が減速したが、アジアが売上げを伸ばしたようだ。

最近の電話会議による業績発表で、同社CEOによると、北米のFortune500社のうち、200社が同社製品を導入している。この四半期だけで16社増えたそうだ。

北米では、金融、石油精製業種など、アジアでは、エネルギー関連、ヘルスケア、企業内トレーニングなどで導入が進んだと分析している。アジアでの同社陣営は日本をはじめ中国、香港、オーストラリア、シンガポールと今後もリソースの強化を行っていき市場拡大を図る。この四半期に対する同社の出荷台数ベースの市場状況については、単純には他社の廉価製品と比較はできないので、“リンゴはリンゴ”と比較すべきだといったようなコメントが CEO からあった。

■ポリコム社

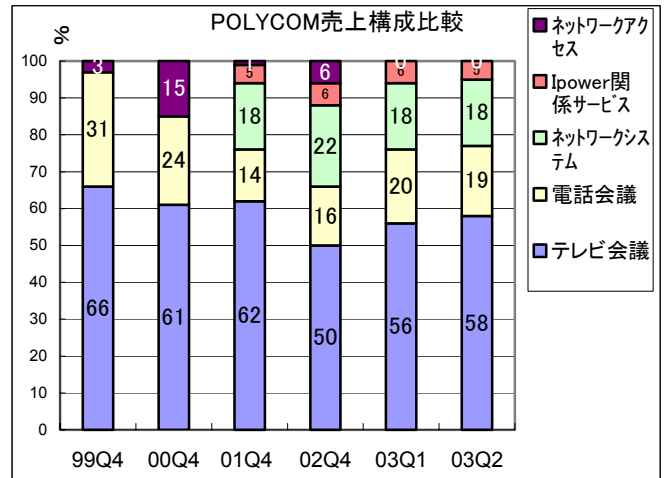


米ポリコム社の第二四半期の連結収益は、9940 万 USD (約 119 億 4100 万円) を計上、前期第一四半期から比べ、約 7% 増だったが、前年同期比では、18.7% 減であった。

第一四半期では、特別計上費用などを除いた見積ベースでの純利益は、810 万 USD (約 9 億 7300 万円) であった。第一四半期では、GAAP (一般会計原則) ベースで 240 万 USD (約 2 億 7800 万円) の損失であったが、第二四半期では、160 万 USD (約 1 億 9200 万円) の純利益を計上し対前年度比も持ち直した。しかし、第一四半期の損失を第二四半期でカバーが若干できず、第一四半期、第二四半期合計して、80 万 USD (約 9600 万円) の損失となった。

DSO (売掛金回収期間) については、45 日であった。また、キャッシュフローは、2200 万 USD (約 26 億 3800 万円) 増となり、21 四半期連続で、キャッシュフローはプラスで推移し、財務健全性の一尺度である現預金資産残高は、5 億 3000 万 USD (約 636 億円) となり、前期から 3.9% 増。引き続き無借金経営を続けている。

製品・サービス別の売上げ構成で見ると、58% がテレビ会議端末 (5760 万 USD、約 68 億円)、18% がネットワー



クシステム関連 (1730 万 USD、約 20 億 7000 万円)、19% が音声会議端末 (1920 万 USD、約 23 億 3000 万円)、5% が iPower 関係サービス (530 万 USD、約 6 億 3570 万円)、などとなった。

ポリコム社は、ハイタッチ販売モデルで顧客との関係を重視した販売展開を図る。

セミナーレポート

NTT-ME 主催 コンピュネティクス社
「多地点音声会議システム audioVIRTUOSO」
実践テクニカルセミナー (7 月 8 日)



音声会議市場状況について語る同社
アジア太平洋地区ディレクター ドン・コルディック氏

7 月 8 日 NTT-ME にて、米コンピュネティクス社のセミナ

ーが開催され、同社太平洋地区ディレクタードン・コルディック氏と、同地域担当マネージャーのソニア・スー氏、サポートエンジニア ポールブランド氏、NTT-ME 取締役グローバルソリューション本部長有馬修二氏、MMCS カンパニー長 辰巳健氏、主査前川由美子氏などによる、コンピュネティクス社の製品紹介及びデモ、音声会議導入のポイントなどの発表が行われた。

ドン・コルディック氏から音声会議市場の動向についての発表があり、最近の世界全体のトレンドとしては、オペレーターが介在しない予約不要の自動音声会議が主流になってきているようで、2000 年では、全体の 66%が、2002 年の終わりには、96%が自動音声会議だったようだ。このため、音声会議多地点サービス業者の時間当たりの収入は減少しているようで 2000 年での時間当たりの収入は 14.54 ドルであったが、2002 年の終わり頃の収入は、10.27 ドルへと減少。日本では、2000 年は、1,156 円だったが、2002 年終わり頃では、1,123 円と微減している。時間当たりの収入は減少傾向を呈しているが、会議はより頻繁に行われる傾向はあるようだ。

同社は、1968 年に設立されたアメリカの会社で、情報処理システムの設計製造で 30 年以上の実績があり、音声会議装置の世界的なリーダー。また音声会議だけでなくテレビ

会議多地点装置なども開発している。

音声会議装置設置にあたっては、日本を含め20カ国以上あり、重要顧客、パートナーとしては、

通信事業分野では、スプリント、MCIワールドコム、グローバルクロッシング、ブリテッシュ・テレコム、AT&T、テレコムマレーシア、テレコムイタリアなど、多地点サービス業者では、プレミア コンファレンシング、インターコール、ACTテレコンファレンシング、ジェネシスコンファレンシング、アエスラなど、また利用ユーザーとしては、ユナイテッド航空、ワールドマンサックス、ノベル、米国防省ペンタゴン、法務省、連



邦航空局、NASA、米国陸軍・空軍、米国郵便公社、米国会院などがある。

同社で扱っている音声会議製品群としては、大型(サービスパロバイダー、通信キャリア向け)タイプとしては、CONTEX240/480、CONTEX ON-Demand、CONTEX Summitがあり、また小型タイプ(企業、政府機関)の製品としては MiniCONTEX や AudioVIRTUOSO がある。またこれらの装置には、会議予約、課金サービス機能、録音再生機能、ウェブコントロール、データ会議機能も提供できるようになっている。

テレビ会議、マルチメディア会議向けでは、大型タイプでは、ORCHESTRATOR や ORCHESTRATOR Hybrid、小型タイプでは、VIRTUOSO、AudioVIRTUOSO がある。音声会議製品と同様に、会議予約、課金サービス機能、T.120 をサポートしたデータ会議、ウェブコントロール機能なども提供が可能。

ポート数的には、最大 120 ポートの音声会議をサポートする VIRTUOSO や、最大 80 ポートのテレビ会議をサポートする ORCHESTRATOR、または、CONTEX Summit は、1920 ポートの音声会議をサポートするため、さまざまな企業ニーズに対応することができる。

同社の製品は、オペレーター介在会議だけでなく、自動接続会議にも対応、ウェブ予約、データ会議、テレビ会議では、画面分割(16 画面分割まで可能)など会議ニーズに対応した機能が搭載されている。

音声会議はどのような業種、あるいは場面で利用されているかということについては、金融、証券、IT 企業、通信、政府、薬品、電力、文教関係など多岐にわたり、利用シーンとしては、社内会議のみならず、危機管理、遠隔教育、インベスターリレーションズ、企業業績発表、などさまざま。欧米では、企業の業績発表で音声会議は日常茶飯事に利用されている。(終わり)

(写真左) audioVIRTUOSO(TM)オペレーターコンソール



Compunetix, Inc.

ーアジア太平洋州ビジネス開発ディレクター
ドン・コルデック (Mr. Don Kordick)

kord@compunetix.com.au (オーストラリア メルボルン)
 ーセールス・マネージャー
 ソニア・スー (Ms. Sonia Soo)
soniasoo@compunetix.com.hk (香港)

【日本での窓口】

株式会社NTT-ME
 グローバルソリューション本部 MMCS カンパニー
 辰巳、高山、前川、八幡、道下
 Tel.03-5956-9054 email: mmcs@ntt-me.co.jp
 ー多地点音声会議システム- AudioVIRTUOSO
http://nttiivs.ntt-me.co.jp/mmcs/voice/virtuo_1.html

米国ナスダック株価情報

NASDAQ 7月30日値動き(米現地時間)

企業名	終値	純変動額	前日比	出来高
ACT	2.56	▲ 0.06	▲ 2.40%	31,430
クリアワン	2.12	▲ 0.06	▲ 2.91%	20,900
セントラ	2.8	▲ 0.02	▲ 0.72%	68,700
エゼニア	0.66	▼ 0.03	▼ 4.35%	62,848
フォージェント	3.011	▲ 0.11	▲ 3.83%	62,075
ゼネシス C	2.11	▲ 0.00	▲ 0.00%	0
ポリコム	16.23	▲ 0.28	▲ 1.76%	1,704,631
レイダンス	2.44	▼ 0.04	▼ 1.61%	213,268
ラドビジョン	7.75	▼ 0.25	▼ 3.13%	23,500
ウェベックス	16.02	▼ 0.44	▼ 2.67%	1,425,152
ワイヤーワン	2.65	▼ 0.08	▼ 2.93%	40,900
ラティチュード	2.26	▼ 0.02	▼ 0.88%	12,900

▲: 上昇、▼: 下落をそれぞれ表す。単位: USD。

イベント情報

国内

■ビジュアル・オンライン会議システム

Visual Nexus 製品セミナー

日時: 2003年8月8日(金) 13:30~16:00

会場: 安川情報システム株式会社大阪支社
 主催: トーメンサイバービジネス株式会社
 * Visual Nexus の紹介セミナー
 詳細: <http://www.visualnexus.com/seminar.html>

海外

■台北国際電信暨網路展覽會 Taipei Telecom

日時: 2003年8月23日(土)~26日(火)
 会場: 台湾・台北 台北世界貿易中心展覽大樓一樓展場
 主催: 中華民國對外貿易發展協會
 * 電気通信システム関連の見本市
 詳細: <http://www.taipeitradeshows.com.tw/telecom/>

■PUG Conference 2003

日時: 2003年9月13日(土)~17日(水)
 会場: サンフランシスコ、ハイヤット・リージェンシー
 主催: ポリコム・ユーザー・グループ
 * ポリコムのユーザーカンファレンス&展示
 詳細: <http://www.pug.com/conference/index.html>

■COMPUTEX TAIPEI 2003

日時: 2003年9月22日(月)~9月26日(金)
 会場: 台湾・台北 台北世界貿易中心展覽大樓一樓展場
 主催: 中華民國對外貿易發展協會
 * コンピューター関連の見本市
 詳細: <http://www.taipeitradeshows.com.tw/computex/>

後書き&次回発行予定について

99年12月にこのニューズレターは創刊しましたが、そのころは、日本国内の関連ニュースやイベント情報を探するのが大変で、海外のニュースが大半を占めていましたが、最近では日本国内のニュースが増えてきて徐々に活性化しつつあるのかという印象を持っています。隔世の感まではいかないですが、変わったなという感じはしています。

来月は、台湾で Taipei Telecom が開催されますが、行けたら行ってみます。おもしろい情報があれば8月末号でレポートします。飛行機がなかなか取れない状況ですが。次号は、業績発表 Part II を中心にレポートします。

CNA Report 編集長 橋本 啓介 kay@hkeis.jp
 (CNA Report Vol 5. No.13 2003年7月31日号
 終わり) 次回は、2003年8月15日を予定しております。
 ご購読ありがとうございました。

CNA Report

Conferencing News & Analysis

Independent & Unbiased Perspective

Since December, 1999

By Keisuke Hashimoto